

医学概論

健康と障害、包括的社会

健康の定義

WHO 憲章では「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義されている。

国際生活機能分類(ICF)…障害者以外も含む全人類に適応する

健康状態: (病気、けが、妊娠、高齢など)

心身機能・身体構造: (～～部骨折、～～麻痺、失語症、機能障害など)

生命の維持に直接関係する、身体・精神の機能や構造で、これは心身機能と身体構造とを合わせたものである。心身機能とは、たとえば手足の動き、精神の働き、視覚・聴覚、内臓の働きなど。身体構造とは、手足の一部、心臓の一部(弁など)などの、体の部分のこと。

活動: (個人・生活レベルのことを果たすこと/家事、職業、趣味 etc)

生活行為、すなわち生活上の目的をもち、一連の動作からなる、具体的な行為のこと。

これはあらゆる生活行為を含むものであり、実用歩行やその他のADL(日常生活行為)だけでなく、調理・掃除などの家事行為・職業上の行為・余暇活動(趣味やスポーツなど)に必要な行為・趣味・社会生活上必要な行為がすべてはいる。

また ICF では「活動」を「できる活動」「能力」と「している活動」「実行状況」との 2 つの面に分けて捉える。

参加: (社会・集団レベルで役割を果たしたり、仲間入りする/主婦、部長 etc)

家庭や社会に関与し、そこで役割を果たすことである。

社会参加だけではなく、主婦として、あるいは親としての家庭内役割であるとか、働くこと、職場での役割、あるいは趣味にしても趣味の会に参加する、スポーツに参加する、地域組織のなかで役割を果たす、文化的・政治的・宗教的などの集まりに参加する、などの広い範囲のものが含まれる。

環境因子: (住んでいる場所、環境、法律など)

個人因子: (年齢、性別、性格など)

※障害があっても、その人のできる側面にも焦点を当てた考え方

国際障害分類(ICIDH)

分類 → 機能障害(生物学的機能レベルの障害)

能力低下(個人の生活レベルの障害)

社会的不利(社会生活レベルの障害)

※障害の負の側面から分類するやり方

国試

第1回午前1 誤っている組合せはどれか。

1. 片麻痺——機能障害
2. 運動失調症——能力障害
3. 構音障害——機能障害
4. 復職困難——社会的不利
5. 歩行障害——能力障害

第1回午前2 近年、我が国における死因の第一位はどれか。

1. 悪性新生物
2. 脳血管障害
3. 心疾患
4. 肺炎
5. 不慮の事故

第2回午前1 WHOが定める健康の定義に含まれるのはどれか。

1. 社会的に良好な状態
2. 経済的に良好な状態
3. 職業的に良好な状態
4. 環境的に良好な状態
5. 家庭的に良好な状態

第2回午前2 パターナリズムの意味として正しいのはどれか。

1. 説明と同意が不可欠である。
2. 患者のために意志が決定する。
3. 患者と医師の共同作業である。
4. 患者の自己決定権を尊重する。
5. 人生の質の向上が目標である。

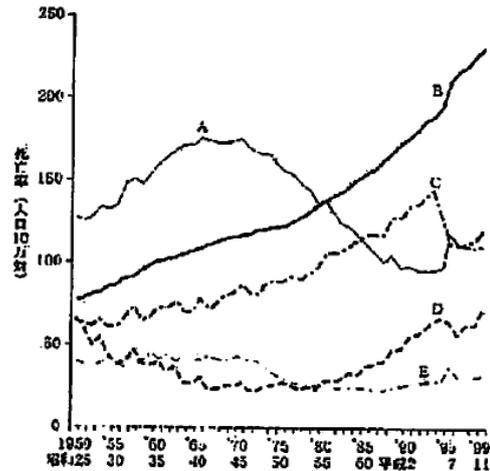
第3回午前1 介護保険制度の保険者はどれか。

1. 国
2. 都道府県
3. 市町村
4. 医療保険者
5. 年金保険者

第3回午前2 職業病はどれか。

1. 気管支喘息
2. じん肺
3. 水俣病
4. 慢性ヒ素中毒
5. イタイイタイ病

第4回午前1 図は我が国の主要死因別に見た死亡率の年次推移を示す。脳血管疾患はどれか。



1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

第4回午前2 生活習慣病で誤っているのはどれか。

1. 喫煙による肺気腫
2. 食塩過剰摂取による脳卒中
3. 肥満によるインスリン依存型糖尿病
4. アルコール過剰摂取による肝硬変
5. 動物性脂肪の過剰摂取による大腸癌

第5回午前1 日常診療の場で推奨されないのはどれか。

1. 患者との共同作業
2. 患者の自己決定権
3. 患者の自己選択権
4. インフォームドコンセント
5. パターナリズム

第5回午前2 正しいのはどれか。

1. 環境的要因をシミュレーションして検討を行うのは臨床疫学である。
2. 病態を対象として検討を行うのは理論疫学である。
3. 疫学は結論に關与する要因の究明に役立つ。
4. 因果関係の推定に最も強い根拠となるのは分析疫学の後向き研究である。
5. コホート研究はまれな疾患が調査可能な介入研究である。